

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年7月17日(17:00~17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本・保坂保・仙洞田・小倉・サトウ・岡田・上田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	15人	人	人	17人

前回の改善計画
本人の様子や家族からの意見、感情・物事の変化等を敏感に悟り支援の中で得た情報をブルーオーシャンに記録し、必要な情報をいち早く LINEWORKS で共有し初期・日々の支援に役立てる。

前回の改善計画に対する取組み結果
職員が本人の様子を確認し、ご本人・ご家族から情報を得て発信しチーム内で相談や意見交換し共有ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	14			17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	13			17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	12			17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	14			17

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご本人やご家族が必要としている事を聞き取り、情報は LINEWORKS で情報共有し支援に繋げる事ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者への支援方法など記録や申し送り・コミュニケーションツールなど活用し理解できている事も多くあるが、コロナ禍においてご家族との対面回数も激減していき、手紙等でのコミュニケーションが主流となっているので気持ちを察することができているのか不安もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ご利用者の生活で困っている事や支援が必要なことを改善する為に、ご家族へ提案し意見交換や情報共有あらゆる手段を活用していき課題の改善に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月20日(16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本・保坂・仙洞田・小倉・サトウ・岡田・上田・小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	14人	人	人	18人

前回の改善計画
 本人の目標を各職員が把握し支援の中で得た情報はブルーオーシャンに記録し、必要な内容は LINEWORK で情報共有して目標を目指した関わりを行なう。

前回の改善計画に対する取組み結果
 各職員が利用者の「〇〇したい」という気持ちに最大限寄り添い、支援の中で得た情報は B0 に記録し必要な内容は LINEWORKS で情報共有し、職員間で確認し話し合い目標を目指した関わりを行なうことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	7	11			18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	10	1		18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	14			18
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7	10	1		18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ケアプランや LINEWORKS ・会議での発信・会議録を通して本人の目標を把握し目標を目指した関わりができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 本人のサインを見逃したり、業務の効率を優先して本人の目標を目指した関わりと違いが生じる事がある。また、新型コロナ禍において、一堂に会しての会議がおこなえなために、文面だけでは職員の受け取り方によっては方向がずれてしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 本人の言動や表情の変化を見逃さず、支援の中で得た情報は記録して必要な情報は発信し、職員間で共有する。LINEWORKS での発信・会議での振り返りの他、職員間で声をかけ合い本人の目標を目指した関わりを行なう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年8月20日(17:00~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本・保坂・仙洞田・小倉・サトウ・岡田・上田・小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	12人	0人	0人	18人

前回の改善計画
本人の様子や以前の暮らし方など、支援の中で得た情報はブルーオーシャンに記録し整理した情報をLINEWORKで発信してチームで情報共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
細かな記録までは出来ていない事もあったが、支援の中で得た情報や状態の変化など必要な記録は写真や動画も使ってLINEWORKSで発信しチームで情報共有できており本人の気持ちに寄り添った支援や家族とのコミュニケーションに活かすことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	4	12	2		18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	16	2			18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	13	1		18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	8			18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	10			18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人のいつもの状態を把握した上で常に観察の視点を持ち、支援の中で気づいた点や変化を見逃さず、残存機能を活かし体調や気持ちに合わせた適切な支援ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人よりも家族の意思が優先され、本人自身の声に耳を傾けられていない時があり、現在の生活環境の把握に重点を置き以前の暮らし方の把握は不十分である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
支援の中で得た情報(様子・状態・以前の暮らし方等)を記録し、本人の声にならない声を言語化しチームでの共有して理解を深め、本人の気持ちに寄り添い状態に合わせた支援をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月24日(16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本・保坂・仙洞田・小倉・サトウ・岡田・上田・小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	13人	0人	0人	18人

前回の改善計画	事業所の生活スタイルや事業所が接していない時間の過ごし方を理解するために、支援に入った時の状況確認や聞き取りの情報を LINEWORKS に入力し、職員間で多職種会議及び小規模会議等で共有し適切な支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	支援にあたる職員が観察の意識を持ち、利用者の状態や自宅内の変化などの情報は LINEWORKS を活用して職員間で情報共有できている。利用者の生活環境を理解し、他部署や多職種、近隣の方々の協力など地域資源を協働して適切な支援を提供し地域での暮らしを支えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	13	0	0	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	14	0	0	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	6	12	0	0	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	15	2	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族とコミュニケーションを取り、生活スタイルや人間関係・事業所が直接接していない時間の過ごし方など、得た情報は LINEWORKS を活用して発信して会議で話し合い柔軟な支援が来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の暮らしに必要な地域資源・生活スタイル・人間関係等の把握について利用者・家族のニーズや必要性にそれぞれ違いがあり、全てを理解し、把握するまでには至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
些細な情報もブルーオシャン・LINEWORKS に記録して事業所が接していない時間の利用者の生活や必要な地域資源を把握し、利用者の状態に合わせたサービスを提供して地域での暮らしを支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月24日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本・保坂・仙洞田・小倉・サトウ・岡田・上田・小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	13人	0人	0人	18人

前回の改善計画
 利用者の変化を見逃さないように、常時観察の視点を持ち、積極的に地域資源との関わりを持ち、多職種からの意見を収集していくと共に、他部署との連携を事業所間会議などを活用して取ながら柔軟な支援につなげていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 「いつもの状態」に意識を持ち、常に観察の視点をもって利用者の支援にあたり、身体的・内面的変化にいち早く気づけるように努め、変化があった時は情報を上げて、会議などで多職種を連携を取って柔軟な支援ができる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	12	1	0	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	7	0	0	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	12	6	0	0	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	11	7	0	0	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 常に観察視点を持って支援にあたり、利用者のニーズや状態の変化は職員間で情報共有しニーズ・状態に合わせて通い・訪問・泊まりを柔軟にサービスを提供できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 本人の望む支援と事業所が必要だと考える支援にズレが生じる事がある。
 地域資源を出来るだけ活用しているが、コロナ禍のため、積極的に関わりを持つ事が少なくなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用者が関わっている地域とコミュニケーションをとり地域包括支援センターなどが行う交流会等に参加し関わりを深め、地域資源を活用しながら利用者のニーズに合わせた柔軟な支援を提供する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (16:30 ~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 大竹・花島・吉村・玉井・屋上・上園・三森・奥村・野田・山口・松本・保坂・仙洞田・小倉・サトウ・岡田・上田・小野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	12人	0人	0人	18人

前回の改善計画	感染症対策をとりながら、コロナ禍でも可能な企画を地域の方々と共につくり、イベント再開の準備を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治体、地域の方々と連絡を取り協力して頂き、感染対策を取りながら、オンラインや少数派などでコロナ禍でも楽しめる企画を模索し、利用者にとって貴重な地域との関わりを提供できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	8	10	0	0	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	7	11	0	0	18
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	14	0	0	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	14	0	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
各会議はオンラインを用いるなど、定期的な開催により意見交換を行え、対応に向けて取り組む事が出来ている。地域住民を招いてのイベントはコロナ禍であり中止するケースが続いたが、その中でもオンライン形式や時間を決めての交流や参加など工夫して出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍において、可能な方法を考え交流し参加しているが、地域イベントへの参加や地域住民が事業者を訪れる機会は減少している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域との繋がりやこれまでの関係を継続する為に、オンラインや物のやり取りなど感染対策を取りながら可能なイベントを企画し参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 10月 18日 (17:00~17:30)

7. 運営

メンバー 大竹、玉井、花島、吉村、上園、屋上、岡田、上田、野田、山口、小倉、保坂(保)、仙洞田、松本(佳)、小野、野田、奥村、三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	14人	0人	0人	18人

前回の改善計画	書面やオンライン等を活用して地域の方々から情報を得て、新生活様式における新たな地域の取り組む方法を考え、新しい形の協働した取り組みをおこなう。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域から情報を得て、感染症対策をとりながらオンラインや少人数での活動など可能な方法を考え協働した取り組みが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	13	2	0	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	11	7	0	0	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9	9	0	0	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	6	12	0	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者・家族・地域からの意見や苦情は、1つ1つ意見をLINE WORKS等を活用して情報を上げて職間での情報共有し対策を考え改善策を打ち出し、その後の対応を運営に反映できている。 事業所のあり方について、会議や上長への相談を通して職員の意見を言うことができおり、意見を言える人間関係がある程度構築出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者・家族・地域からの意見を頂いているが、中には意見や苦情があっても事業所に言わない事もある。 コロナ渦での活動制限の為、地域の方に「グリーンヒル八千代台」を知って頂く事がSTOPしてしまった。 職員としての疑問や意見・考えを会議や上長への相談を通して言うことは出来ているが、話し合い解決する場がない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者・家族・地域との日々の関わりを大切に、グリーンヒルを知って頂き、意見を頂きやすい関係の構築をする。また、職員の意見も含め会議に上げ、運営に反映していく。 グリーンヒル八千代台は15周年を迎えるにあたり、地域の方々により知ってもらえるように活動風景など冊子等を配布し地域の拠点として活動できるよう周知していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 19 日 (16 : 30～17 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大竹、花島、吉村、玉井、屋上、上園、奥村、野田、山口、小野、松本 (佳)、保坂 (保)、仙洞田、小倉、サトウ、岡田、上田、三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	9 人	0 人	0 人	18 人

前回の改善計画	ブルーオーシャン・LINEWORK を活用して情報共有し、職員一人一人が常にリスクマネジメントやスキルアップの意識を持ち、マンパワー力の向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	BO, LINE WORKS を活用してヒヤリハット報告や事故防止策を職員間で情報共有し、職員一人ひとりが常にリスクマネジメントやスキルアップの意識を持って取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	14	4	0	0	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	9	1	0	18
③	地域連絡会に参加していますか	7	11	0	0	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	14	4	0	0	18

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 資格習得やスキルアップについて職場内外の研修に参加できており、また事業所内の会議でも研修が組み込まれ同じ題材を学ぶ事により意見交換も行きやすくなっている。 地域連絡会に参加している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍の為オンラインや座学中止の研修となり、実務の向上が難しい。 リスク軽減に努めすぎて利用者本来の力を使ってどう介助したら良いか等の実施研修がない。 研修に参加できない職員もおり、学びに繋がらない事があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修に参加した職員が伝達研修を行い、他の職員に報告伝達し現場で実践出来る内容は職員間で行い研修内容をチームで共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 19 日 (17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大竹、花島、吉村、玉井、屋上、上園、奥村、野田、山口、小野、松本(佳)、保坂(保)、仙洞田、小倉、サトウ、岡田、上田、三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	12人	0人	0人	18人

前回の改善計画

個人情報の取り扱い、鍵の管理はルールを徹底し、職員間の情報共有・伝達はメモや LINEWORKS を活用したり、話す場所に配慮してプライバシーの保護に注意をはらっていく共に、IOT・IOC 化を進め個々の職員の利用者への心理的支援の時間を増やしてく

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者の個人情報の取り扱いや鍵の管理には、職員一人ひとりが注意を払いルールを徹底している。職員間で会話を交わす時には場所や状況、内容に配慮しプライバシーの保護に注意を払っている。IOT、ICT 代により利用者への声掛けやコミュニケーションの時間が増え、ご利用者の不安や焦燥など変化にいち早く気付く事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14	4	0	0	18
②	虐待は行われていない	16	2	0	0	18
③	プライバシーが守られている	8	10	0	0	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	13	5	0	0	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	7	0	0	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束、虐待について研修を行い各職員が常に意識し行っていない。
個人情報の取り扱いや鍵の管理についてルールが徹底されている。
利用者の意思を尊重した支援を行えている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

プライバシーの保護について、すぐに伝達したい事など口頭でその場で伝える時に、場所や内容に配慮しているが、声のボリュームが大きくなってしまったり、周囲にまったく聞こえていないわけではない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

プライバシーの保護を徹底できるよう、職員間の伝達は BO・LINEWORKS・メモを活用し利用者に配慮する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠耀会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者やその家族等のニーズに適宜対応する為に必要なサービスを柔軟に組み合わせて提供することにより、ご利用者の地域生活を総合的に支援し、安心を提供するため、事業所として、ご利用者の日々の生活に変化が起きてもフレキシブルに対応を可能とするため、問題解決力を向上させ、軌道修正しながらサービスの向上を目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	大竹 暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	データを活用した PDCA サイクルの推進とケアの質の向上を図る取り組みを推進しケアプランに取り入れたサービスを提供していく。日々の状況や状態に即時に対応できるよう、LINEWORKS と対話を有効に使い、統一ケアに取り組む。	記録や申し送り・コミュニケーションツールなど活用し理解できている事も多くあるが、コロナ禍においてご家族との対面回数も激減していき、手紙等でのコミュニケーションが主流となっているので気持ちや察することができているのかという不安もある。	IT 関連のテーマが多かったですが、あれもこれも手を広げすぎず、まず対外（利用者家族）とスタッフ業務の充実へ一歩一歩進めて下さい。焦り過ぎると内部不可がサービス低下になってしまいます。無理せず利用者さんの為の「グリーンヒル」であり続けて欲しい。自己評価出来ている事、出来ていない事理由記入欄は一人の意見？複数の意見があれば知りたいです。	ご利用者の言動や表情の変化を見逃さず、支援の中で得た情報は記録して必要な情報は発信し、職員間で共有する。LINEWORKS での発信・会議での振り返り他、職員間で声をかけ合い本人の目標を目指した関わり、多角的に意見を出し合っていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節感のある環境整備、行事の案内や作品の展示継続を心がける。感染予防のため、入館後の手洗い・消毒のご案内・誘導、物品整備にも消毒等の感染症対策の徹底に努める。	ご利用者の作品展示は季節毎の飾りと共にできている。換気、手洗い、うがいや消毒の徹底等行ない感染症対策をおこなっているが居心地の良い空間づくりとの両立を模索しながらの取り組んでいる段階となっている。	コロナで何とも言えませんでした。しかしコロナ対策もしっかりしたイベントの再開が出来ていた上に、新たなイベントも行われていました。コロナ禍においても、決して閉鎖的でなく感染症対策をしっかりと行った上で居心地の良い空間を作っていると思います。	コロナ禍における感染症対策(うがい・手洗い・マスク着用等)と居心地の良い空間づくりの両立できる様に季節毎の飾りやご利用者自身の作品展示をおこなっていきともに環境作りをおこす。
C. 事業所と地域のかかわり	地域・施設の交流継続をしながら、地域の方々にも認知症の方や家族を温かく見守って頂けるよう、啓発活動や情報交換を行なっていく。ふらっとホームに関しては、支え合いの輪の取り組みとして、社協と共に考え、出来得る事を展開・開催していく。	地域住民を招いてのイベントはコロナ禍であり中止するケースが続いたが、その中でもオンライン形式や時間を決めての交流や参加などしやすいように工夫しふらっとホームによる食品配付や学童保育への出張行事などをともに行って来ている。	コロナ禍となつては、訪問より電話での連携が多くなりましたが、いつも対応が気持ちよく感じています。また困った時には相談が出来る開かれた事業所だと思います。新しいイベントでグリーンヒル八千代台を知ってもらえる事も増え、また八千代台小学生の関係者にはとても良いアピールになったと感じます。	グリーンヒル八千代台は 15 周年を迎えるにあたり、地域の方々により知ってもらえるように活動風景など冊子等を配布し地域の拠点として活動できるよう周知していく、また Web なども活用した交流も行ない地域との関わりと図っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	直接の地域行事参加は難しい場合でも社会福祉協議会との連携を継続し、「地域で支える支援」に向けて、コミュニケーションを図り、情報共有を図って取り組んでいく。	ご利用者の生活を理解し、他部署や多職種・地域の方々のご協力など地域資源を協働して適切な支援を提供し地域での暮らしを支えることができました。	外に出向くの反対です。家族としては施設に伺って、スタッフの皆さんと担当者会議したいです。(泊まりの職員皆さんとも) コロナ禍もまだまだ続くと思われ、コロナ禍なので積極的に外部と関わるのは難しいと思います。時代が時代なので無理はしないでください。	地域資源の活用等にも視点をもって利用者の支援にあたり、身体的・内面的変化にいち早く気づけるように努め、本人が望む支援へ連携を取って柔軟な支援をおこなう。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域での課題や取り組みを自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら共有していく。八千代市介護保険事業所協議会看護小規模部会と協働し互いに運営推進会議に参画して地域活動にいかしていく。	自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取り地域活動や学校等の行事などへの活動協力を他機関と連携して行なうことができている。	運営推進会議では、活動内容を分かりやすく説明されています。また、参加者全員の意見に対しても真摯に答えている姿が信頼できると感じています。とても有意義な推進会議だと感じます。	運営推進会議を活かし、自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会・民生委員等と連携を取りながら地域の課題の一つひとつ解決に向けて話し合い、一緒に考えていくことで、地域の支え合いを目指した会議を実施する。
F. 事業所の防災・災害対策	福祉避難所として、防災についての取り組み、防災計画・防災訓練等を通して共有して頂けるように、共に地域で防災・減災について協力し合えるようにしていきたい	今年度は施設として BCP の策定をおこない、運営推進会議において推進員の方々に伝えることができた。また、施設において部署間や多職種間で話し合い必要物品のリスト作成や災害倉庫の完備をおこなった。	螺旋滑り台は利用者さんの事を考えても避難ツールとしてよろしくはないと思います。消防法対策も大切かもしれませんが、何よりも実用性を重視して見直しをお願いいたします。以前より要介護度が高い方が主となっているので、避難方法の課題も新たに出てくると思います。社会情勢と利用者様の状態に合わせた対策を今後もお願いいたします。	避難経路の見直しなど避難ツールの再検討をし、運営推進会議委員の方々や民生委員・自治会の方々も参加して頂いての防災訓練を計画を作成して実施していく。